

虫干用費極書

極書之事

一今般上組五百瀬村ニおゐて御宝書虫干御会所御招へ有之候所、右日限へ下組東村惣代及遅参、郷内御宝所虫干定例之通相済不申、被是及惑乱候所、^(彼力)此度東村惣代不速之段相詫候ニ付差赦シ申候、右ニ付東村者勿論、右様遅参之組合有之候而、両郷江諸入用相掛候節者、其組合より急度雜費相立、郷内江少も入用相掛不申筈、依之自今以後両郷一統定書依而 如件、

文政四年

下組東村惣代

七月二日

玉置新左衛門^印

同 西河組惣代

千葉 勇吉^印

同四村組^(之脱力)込上村

谷向亀之丞^印

同三村組惣代

氏本文太夫

代人 左兵衛^印

同下二村組惣代

玉置 現内^印

同上二村組惣代

乾 久兵衛^印

上組小川村惣代

森尾定之進^印

同宇宮原村惣代

橋本長兵衛 印

同御会所本五百瀬村

小松 鞠負 印